

第 423 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 8 年 7 月 7 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX GOOD-TIE!
[放送日時] 令和 8 年 5 月 20 日 (水)
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
(4 委員 / 6 委員)

[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
常務取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部副部長 原 壮俊
編成制作部シニアマネージャー 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-MIX の株主総会のご報告と前年度の決算等について
6. 番組審議
[番組名] K-MIX GOOD-TIE!
[放送日時] 令和 8 年 5 月 20 日 (水)
[出演者] 鈴木愛実
[番組内容] 聴けば静岡の今とつながる！
時間毎、様々な人と番組をリアルにつないで、
メッセージを通して番組とリスナー、
そしてリスナー同士をつないで“静岡の今”を
つないでいくプログラム。
今回は、【特別番組『はままつ健康フォーラム』】
としてスペシャルプログラム編成でお送りします。
「乳がん・乳がん検診」や「がん予防のための
家族サポート」について考える
はままつ健康フォーラム加盟団体提供による
特別番組です。さわやかな GOOD-TIE! の雰囲気
を保ちつつ、特別感をもってお送りします。
“健康”や“がん”という多くの人にとって
大切なテーマだからこそ、ラジオらしく
ユーモアも交えながら、ポジティブに向き合える

企画を展開。「健康に関する情報を伝える」
「健診を受けるように促す」も折り込みながら、
パーソナリティの鈴木愛実が、「健康診断」を
受けるように、「乳がん検診科」「家族サポート科」
「feat. 科」「メッセージ問診科」など、
さまざまな「科」を訪れながら番組を進行。
先生役は、診療放射線技師・齋藤忍さんです。

[聴取・合評での主な意見]

加藤委員

全体的に興味深く聴くことが出来た。構成も良かった。先生役の齋藤さんはパーソナリティの鈴木愛実さんとの相性も良い。また、番組に寄せられた聴取者からのメッセージも万人共通の意見が多く共感できた。「健康に関する情報を伝える」「健康診断に行く機会を増やすように促す」という目的は、前者は伝わっていると思うが、後者は、今回の展開が、家族での会話といった、自分以外の身近な人がいる、また、女性に特化した内容がテーマにもなっていたこともあり、一人暮らしの若い方やお年寄りの方、男性には、少しアプローチ力が弱く、難しかったかもしれない。鈴木愛実さんの番組の展開のうまさは、際立っている。

服部委員

番組全体的に声のトーンが優しく明るめで、「ながら聴き」をするリスナーにとって、耳にやさしく心地良かったと思う。お二人の会話も雰囲気が高く、鈴木さんは実際に現場で活動されている齋藤さんからうまく情報を引き出してくれていた。「ブレスト・アウェアネス」というやや難しい言葉も紹介されたが、具体的な確認方法や普段からどのような点に注意すれば良いかについては、もう少し詳しく聴きたかった。健康や病気に関する話題は伝え方によって重く受け止められることもあるが、お二人の明るく親しみやすいトークによって、不安を必要以上に感じさせることなく大切な情報が伝えられていた。特に女性にとって、早期発見の重要性を感じ、検診や受診への意識を高めるきっかけとなる番組だったと思う。

角田副委員長

パーソナリティの鈴木さんと先生役の齋藤さんのトークが、明るくて聴きやすいところは、各委員と同様に感じる。また、情報提供という点は良かった。一方で、番組の展開が

きれい過ぎて、やや、危機感が伝わりにくかったと感じる。
この時間帯、また、ラジオは「ながら聴き」が多いということは同感であるが、大切と思われる所のリマインドが弱く、トークがなめらかで心地よいために、さらりと流れて行ってしまった。
お若い方は、健康診断の体験が浅く、ベテランの方は、料金や受診の仕方（申込方法）がわかりにくいということもあって、健康診断に対して、距離を置いていると思われるので、その辺りの説明も込めながら、どの世代に向けて番組を進めて行くのかが意識されていると、より良い番組になると思われる。

木宮委員長

スペシャル番組として、とてもきれいにまとまっていた。
健康診断を受けることに積極的でない人が聴けば
「受けなければならない」という思いを持たせたと思う。
パーソナリティの鈴木愛実さんは番組の進行をうまくコントロールしていた。鈴木さんと先生役の齋藤さんの会話も、どちらが話しているのかちょっとわからなくなるほど、滑らかだった。もしかしたら、齋藤さんを先生役にしたことで、男性聴取者を敬遠し、意図的に、女性に特化した内容にしたのかもしれないとも感じた。また、「健康診断の受診の機会を」という目的のもとに、「健康診断を受けない側」からのメッセージを設定して、なぜ、受けていないのか等の具体的な意見を集めれば、受けるための必要事項がより鮮明になったのではないだろうか。

会社サイド

今回のスペシャルプログラムは、以前には同時間帯の生ワイド内でコーナーとして放送しており、その際、テーマを様々に設けて、聴取者から、いろいろなご意見をいただきました。「健康」は、年月を経ても大切なテーマであると思われるので、次回以降も、内容を吟味しながら番組を構築して行きたいと思います。

以上

次回開催日 令和8年9月1日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長
木 宮 敬 信